

津別町130年記念 第44回 つべつ夏まつり



ラウフェンの伴びのある歌声



タケカワユキヒデがヒット曲を熱唱



フォーリンラブの二人



31回目となった千人おどり



活汲小学校&RECつべつの
リコーダー演奏



第10回川のぼり大会



姉妹都市・南アルプス市の中込市長も来場



津別中学校吹奏楽部の息の
合った演奏



「観光コンシェルジュ」の
安達祐子さんがもちまきに参加



スマートボールに夢中



木漏れ目の下で乗馬体験

「津別町130年記念・第44回つべつ夏まつり」が、7月5日・6日の両日、河岸公園で開催されました。

5日の前夜祭は、リコーダーや吹奏楽の演奏、恒例のつべつ千人おどり、もちまき大会などで盛り上がり、クライマックスの花火大会では夜空に咲いた大輪の花に、大きな歓声が上がっていました。

好天に恵まれた6日の本祭では、第10回つべつ川のぼり大会、特産ビーフまつり、食べ物や名産品の出店などに多くの人が集まり、夏の一日を満喫していました。また、野外ステージで行われたHBCラジオ公開録音では、ゴダイゴのタケカワユキヒデさんや札幌在住の音楽ユニット・ラウフェンのライブ、お笑いコンビ・フォーリンラブの爆笑ステージが、会場を埋めた観衆を楽しませました。

津別に本格的な夏の訪れを告げる催しは、今年も町内外から訪れた来場者で賑わいました。

各種医療費助成事業の 受給者証は届いていますか

町では、北海道と共同で医療費の助成事業を実施していますが、この受給者証は毎年7月に更新しています。

現在助成の対象になっている方には、7月下旬に郵送していますが、もし届いていない方がいましたら役場担当まで問い合わせ願います。

乳幼児等医療費助成事業

【初診時一部負担金も助成します】
中学生まで助成の対象を拡大していますが、昨年度より初診時一部負担金も助成することとなり、医療費が無料となっています。ただし、定められた医療機関以外は、今までどおり医療機関で発行される領収書を役場に持参の上、医療費の請求をしてください。

ひとり親家庭等医療費助成事業

【母子家庭、父子家庭の方が
助成対象になります】
ひとり親家庭で、18歳未満の児童・生徒及びその児童等を養育している方が対象です。住民税非課税世帯の方は、児童等が20歳未満まで対象となります（申請には在学証明書が必要）。

受給者証は、各医療機関に提示するこ

とで、医療費の助成が受けられます。

ただし、親の外来は医療機関で発行される領収書を役場に持参の上、医療費の請求をしてください。

重度心身障がい者医療費助成事業

対象者は、身体障害者手帳の1〜2級と3級（内臓疾患のみ）、療育手帳「A」判定の方などです。

受給者証は、各医療機関で提示すること、医療費の助成が受けられます。

住民税課税で65歳以上の一定の障がいがある方（障がい後期医療制度加入者）は、自己負担が1割となりますが、後期高齢者医療保険も同じ1割となりますので、受給者証は交付されません。

問い合わせ先

保健福祉課 健康医療グループ
福祉医療担当⑨番窓口

☎76-2151（内線229）

核のない平和な世界を願って

「非核・平和の町宣言」の決議

世界の恒久平和と豊かで安全な地域環境を守るとは、全世界の共通の願いであります。

この切なる人類の願いにかかわらず、今なおこの地球上には大量の核兵器が蓄積され、核実験・核競争が行われ、この脅威から解放されておりません。核兵器の使用は地球を破壊し、すべての人類、すべての文明を破滅させるものであります。

世界唯一の被爆体験国である日本国民は、この過ちを再び繰り返さないために、核兵器の廃絶を世界に訴え続け、核競争に歯止めをかけなければなりません。

愛林の町を宣言している私たち津別町民は、緑豊かな自然と郷土を守り子孫に伝えるためにも、非核三原則の作らず・持たず・持ち込ませずの理念を尊重し、恒久平和の実現を願い、ここに「非核・平和の町宣言」をする。

以上、決議する。

平成10年9月25日

北海道網走郡津別町議会

今年で69回目の終戦記念日を迎えます。しかし、今なお広島・長崎の原爆の後遺症に苦しむ多くの人たちがいます。

核も戦争もない平和な世界は人類の願いではありますが、テロと報復戦争が繰り返されています。

津別町は、平成10年9月に左記の「非核・平和の町宣言」を行い、核兵器の廃絶を訴えています。また、平成14年には幸町の忠魂碑跡地に「平和の碑」を建立し、恒久平和の実現を願っています。さらに、平成21年に、連帯して世界恒久平和の実現を願う「平和市長会議」に加盟しました。



平成14年に建立された「平和の碑」